

1 【活動の趣旨】

日本の伝統文化に触れ、親しみと継承の心情を育てる一環として、地元で活動しておられる地域の方を講師に迎え、美術科では「大津絵」、音楽科では「民謡」体験を2年生対象で行った。実技教科において、実際に本物を目の当たりにした刺激や興奮は、計り知れないものがある。様々な体験を通して、ふだんはあまり関心のなかったことに興味を持つとともに、地域の方とのふれあいの機会を持つことで、今後も繋がりを大切にしながら、伝統文化の継承につながるよう期待を寄せている。

2 【特徴的な活動内容】

○ 「大津絵」

講師は図案ごとに担当者を決め、生徒の前で実演を少しずつ進め、制作していく形で行った。

○ 「民謡」

講師の演奏から特徴をつかみ取り、模倣しながら民謡の素朴さにふれることができた。



【 大津絵体験 】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・生徒と講師が互いに制作過程を確認し、気づいたことを出し合えるように、小グループを基本として活動を設定した。
- ・講師の実演を生徒が模倣、体得しやすいように事前に指導者との打合せを行った。



【 三味線 】

4 【事業の成果】

- ・大津絵や民謡、三味線について知ってはいるが、体験を通して学習したのは初めてであったため、生徒たちはとても楽しんで学習することができた。
- ・本物にふれることで新しい発見や刺激をうけ、日本の伝統文化への興味関心を抱き、よさや味わいを感じることができた。また、作品の展示により、多くの方に文化を知ってもらうことができた。



【 民謡 】

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

日常生活の中で日本の風習や慣習が年々薄れていく中、今回の体験は伝統文化に触れるよい機会となった。単発に終わらず、3年間の継続的な取り組みとなれば、日本文化のよさを再認識し、郷土のまつりや行事に関心が向き、参加を通して住民とのつながりが深まり、より地域を愛する心情が育まれるだろう。また、教科指導の中で進めていく場合は、できるだけポイントを絞り効率よく進められるよう、事前計画と進め方には入念な打合せが必要である。



【 書 写 】